

## 我が社の慢自のとおき



橋本アルミ株式会社  
取締役  
**橋本 健一郎**  
text by Kenichiro Hashimoto

# ゼロミッション経営で、「大阪3Rリーダー事業者賞」受賞の快挙

非鉄金属原料卸売業を営む我が社は、昭和七年(1932)年設立の橋本商店に始まります。戦後、組織変更、名称変更を行ない、昭和五十八年(1983)に当社の前身となるアルミ部門を立ち上げ、翌年、独立創業しました。

我が社の特徴は、平成五年(1993)からスタートした中国

## 健全なリサイクルに挑戦

「この数年、中国を含むBRICs諸国の経済発展に伴い、金属資源の需要が急拡大しています。金属リサイクルの重要度が増すなか、私は「人に社会に清く、正しく、美しく」の経営理念の下で、健全でグローバルなリサイクルシステム構築に挑戦しています。

そして、さらに経営理念を掘り下げ、資源のリサイクルを事業とする

貿易に特化したことにより、銅スクラップ、アルミスクラップ、ステンレススクラップを中心にして、鉛、亜鉛、砲金、真鍮など、取り扱う金属が豊富なことです。

買い取りしたスクラップの一部は中国にある協力工場に輸出、選別作業を行ない、日本ではコストの問題で廃棄されてしまう材料もリサイクル原料となっています。

からこそ、本業以外のリサイクルにも取り組もうと思い、ゼロミッション経営実現にむけて、①事業系のみ

(紙)のみの事前選別の徹底、②納品・引き取りのセット化、③CO<sub>2</sub>の削減、を目標に掲げました。

## 勉強会を活用し知恵を結集

具体的な取り組みについては、慣習に流されないよう

に、「理念と経営の勉強会」で皆と話し合い、アイデアを出し合い、検討を重ねました。そして、銅の納品業者が古紙回収業も兼ねていることから、帰り荷で古紙を回収してもらう。鉄くずもプレスして搬入業者に帰り荷で持ち帰つてもらう。搬入時に使用されていた木枠や袋などは出荷時に再利用することを実践。この結果、廃棄物の減量と処分にかかる経費とCO<sub>2</sub>の削減に成功しました。また、CSR(社会的責任)の

一環として、富士山クリーン活動にも参加しました。

嬉しいことに、「これらの取り組みが評価され、今年三月、大阪市主催の事業者リサイクルコンテストで「大阪3Rリーダー事業者賞」を受賞す

ることことができました。すべては社員さんのお陰です。今後はさらに模範企業となれるよう社員さんと共に頑張っていきたいと思っています。



左から橋本健一郎取締役、松見寧寛、森田信二さん、土井伸介さん